

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

ポナスシーズンも株式市場の追い風に？



先月後半に伝わった外部要因の劇的進展、堅調な米国指標も追い風となり、株価指数が水準訂正へと向かい、8月より続いた調整局面から相場の底打ちムードも高まりつつある。

前回では「難しい地合いだからこそ『打診売買』を」と題して打診売買の必要性を説いたが、値頃感のある「20万円以下」の銘柄を対象とした11月29日配信の「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」の提供銘柄・スタートトゥデイ(3092)が早期に目標株価を達成、購読者からは市況分析結果を高く評価していただいた。

ただ、12月第2週に入り、メジャーS/Qが接近。相場のターニングポイントにも差し掛かっている。そろそろ年末特有の「節税対策売り」や海外投資家による「ポジション調整」など、需給面での一時的な逆風も想定しておくべきだろう。

しかしながら、ここで過度に弱気になる必要はまったくない。時期的には冬のポナス支給シーズンでもあり、投信などを通じて株式市場への資金流入も見込まれる。翌週の「四季報発売」なども物色意欲を刺激するだろう。

そこで弊社では、12月恒例となったポナステーマを題材とした「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売する。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせほしい。